レッスン：PYR No.83

テーマ：多重性と同一体

PYR 83 KE08 No.8 1302

私の姉妹・兄弟たちよ。

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

 過去に私たちはLifeの多重性について多くを話しました。

絶対存在は一つという状態にあり、同時に多重性にあります。

絶対存在のワンネスのなかには無数の聖なるモナドスピリットセルフがあり、

スピリットモナドセルフの一つ一つが同時に神なの*です*。

多重性のワンネスが何であれ、それはまたモナドセルフスピリットです；

実際、各モナドスピリットセルフの本質は、絶対存在のワンネスの多重性における他の全てのモナドセルフと同一です。

　それらのレッスンで、

創造界におけるLifeの現れが何であれ、そこにはLifeの本質があると述べました。

つまり、絶対存在のワンネスの本質が何であれ、Lifeの現れにもそれがあるということです。

　ですから、例えば魂のセルフエピグノシスの場合、それもまたLifeの現れであり、

同時にLifeの多重性を現しています。

現在のパーソナリティーでさえ（それはLifeの真の現れではないですが）、ある程度まではLifeの多重性を現している、と述べました；

しかし、現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークは多重性を完全に現しています。

つまり、現在のパーソナリティーは将来、自己実現した時にはLifeの本質を現わし、その現れはLifeの多重性を現すようになります。

　さて、現在のパーソナリティーはどの程度、多重性を現すのでしょうか？

多くのレッスンで、現在のパーソナリティーは思考、想念活動の結果として無数のエレメンタルを創造している、と述べました。

そしてそれらのエレメンタルは、最初は願望想念のエレメンタルです。

　このエレメンタルの創造を多重性の現れとみなすことができるでしょうか？

実際、それは不可能です。しかし、もし同時に同じ人のことを考えている2人の人間、つまり2つのパーソナリティーを例に取ると、その2人はその特定の人の同一体を生み出します。両方の現在のパーソナリティーは彼等自身の体を築きます、つまりエレメンタルです。しかし、そのエレメンタルを築く瞬間（そのエレメンタルは勿論2つですが）、それらは似通っています。なぜなら、各現在のパーソナリティーはそれ自身のエレメンタルを築くからです。ですから、2つの同一体があり、それらの同一体はその体を生み出したパーソナリティーによって活性化されるのではなく、それらが意味するそのパーソナリティーによって活性化されます。ですから、即座に、そのパーソナリティーは多重性を現します…しかし勿論、そのパーソナリティーはそれを知りません。ですから、自分達の内側に多重性の能力があるのです。

　それらの同一体を誰が活性化するのでしょうか？それらが意味するパーソナリティーです；しかしパーソナリティーと言うとき、実際にはそのパーソナリティーを活性化するスパークです、スパークがその同一体を活性化するのとまったく同じように。その同一体はLifeを現しませんが、しかしそのパーソナリティーが現しているのとまったく同じレベルの気づきを現します。それがLifeの多重性です。なぜなら、それはLifeの本質のなかにあるからです；それに関して疑問はありません。

Page2

私たちが何かにフォーカスしてそのエレメンタルを生み出しますが、私たちはそれについて責任があります。それは私たちが創造したものであり、私たちはそれに責任があり、その結果を蒙るのです。

　しかしもし私たちが誰かのエレメンタルを生み出し、

そのエレメンタルはそのエレメンタルが意味する誰かによって活性化されるのなら、私たちにとっての結果はどうなるでしょうか？私たちはその結果を蒙るのでしょうか？どう思いますか？そのエレメンタルは私たちがその相手を知っていた時と同じレベルの気づきを現す、と述べました。

　別の言い方で言いましょう；いかにして私たちは誰かを助けるのでしょう…もしその誰かが私たちによって活性化されないならば？皆さんに考えて貰いたいと思います。

　私たちがあるエレメンタルを生み出し、同時にそれに意味を与えます。それは私たちが創造したもので、私たちによって活性化されます。私たちが誰かのことを考えると、即座にその誰かは創造されたものが意味する人によって活性化されます。しかし、私たちが何かを創造し、それに意味を与えると、自動的にそれは私たちによって活性化されます。

　私たちは誰かの体を築き、その誰かは私たちによって活性化されます、それに意味さえ与えることによって；どう思いますか？

Q：それに意味を与えるとはどういう意味ですか？

K：私たちが誰かの同一体を築き、その人が笑顔を浮かべて問題なく普通に歩いている状態を視覚化し、意味を与えます…私たちがその人に与えたい助けに基づいて。もし私たちにそれができない場合、その相手に影響、結果をもたらすことはできません。相手の同一体を築く間にそこに意味を与えます、ですから私たちは実際何であれ築くものを支配し、そして相手について考える瞬間、何であれ私たちが築くものは助けを必要とする相手とマッチするのです。

　残念ながら、このことはある程度まで反対からも行うことができるのです。そして勿論異なった波動からの制限もあります、反対の意味、否定性に関する異なった周波数です。

　つまり、否定的な影響を受けるためには、その人は実際に同じ波動で振動している必要があります。

そして勿論それはLifeがそのパーソナリティーを守ることになります。

しかし、肯定的、良い影響を与える場合、肯定的なものは常に相手に届きます。しかし、それによって相手が変化するほどの効果があるかどうかは別問題で、それはディバインの慈悲と結果に関して原因・結果の法則がどのように働くかによります。

Q：肉体を持っている自己実現した人が創造した同一体のヒポスタシス（状態）はどうなのですか？そしてそれらの同一体はサイコノエティカル界においても同じ体が出来るのですか？例えば5つの異なった体がある場合には。

K：もし同一体である体が人々を助けるためにこの物質界の波動に留まるなら、それら一つ一つはそれぞれ異なったサイコノエティカル体を持つでしょう。なぜそれが必要なのでしょうか？なぜなら、何であれ起きることはそのパーソナリティーが眠っている間に後にした肉体に影響をもたらすからです。なぜなら、この世界において多重性が表現されるためには、その唯一の目的はこの世界において人々、現在のパーソナリティーを助けるためであり、それ以外の理由はありません。そして肉体は結果を背負うために必要なのです。

Q：私はただこの世界において複数のヒポスタシスの存在がどれだけ多く存在できるかと思ったのです。

K：違います、それらはサイコノエティカル界には入りません、そのような理由はありません。それらは助けるために、この物質界に留まります。もし理由があるなら、例えばサイコノエティカル界で多重性を現すためなら、それはまたまったく別問題です。もしそこでもまたあなたがサイコノエティカル体を扱うなら、サイコノエティカル体が必要となることでしょう。しかし、物質界とは別に他の波動の世界で多重性を現すかもしれないのは、特に人間がテクノロジーを使って地球の重力圏を離れることができる時だけです；しかしそれは現在のところ、非常に稀なことです。

Q：それでは多重性は基本的にこの物理的世界において表現されるのですね。

`Page4

K：そうです、この物質界において肉体を持った不可視のヘルパーによって。繰り返しますが唯一の理由は、同胞の人間達、他の現在のパーソナリティー達を助けるためです。肉体が必要であり、その結果としてサイコノエティカル体があり、そのサイコノエティカル体は高次ノエティカル体によって与えられた能力を持っています；これについてはレッスンで見て来ました。

　高次ノエティカル体はもし不可視のヘルパーが地球の重力圏外に行かなければならない時にのみ使用されます。さもない高次ノエティカル体を使用する理由はありません。それが唯一の時です…いずれにしてもそれは時間という意味を越えています…それは自己実現の時です。

Q：死という現象によって死んだ人はそれらの現れの波動と何らかのコンタクトがあるのですか？なぜなら、愛する人を失った多くの人は、相手が死んだ後もその人のプレゼンス（＊存在）、生前使用していた香水その他を感じることができると述べているからです。

K：ノー、いかなるコンタクトもありません。彼等は同一体を創造し、そしてその同一体がそれなのです。それは既にサイコノエティカル界にいて（＊死んでいるということ）、その事実にまったく気づいていない（＊自分が死んでいる事に気づいていない）その特定のパーソナリティーのLifeのスパークによって活性化されたものです。

Q：それではリーディングを行い、死んだ人と交流すると主張している人々は？

K：そのような人はその人と交流します。しかし、彼等がその身体を築いた相手の人は彼等に知られていたパーソナリティーなのです、たとえそのパーソナリティーがサイコノエティカル界で睡眠中でもです。

　あなたはまたその間に転生して生まれ変わった人を築くこともできます。新しい転生を活性化するLifeのスパークには限界というものはありません。Lifeのスパークは永遠の昔に生きていた人をも活性化することができます、もし人類が歴史を通じてある人物をずーと崇拝し続けているなら。もし新しい世代の人々が過去の人物を続けて崇拝するなら、（死んだ後、その人が何回も転生して、今も肉体をもって生きていても）今におけるその現在を活性化するスパークはそのずっと昔生きていたその人物を活性化することができるのです、その人がどれほど大昔に生きていたとしても。そして勿論、今の新しい世代の人々がその特定の人物に対する崇拝や献身の気持があると、その人物は時には実際に触れることができるほどの状態として現れるのです。それがLifeなのです。

Q：私が創造した像の中にある人のスパークが入る場合、そのある人のことを思うポイントは何ですか？そしてそのステートにおける真のスパークの責任は何ですか？

K：それはあなたの創造物の責任です。なぜならそのスパーク、誰かを現すそれは実際に現実のとおり、あるがままだからです。それはあなたが望むような思考・行動の仕方を現すことはないからです。それはその人がそうであった通りの気づきのレベルをそのまま現します。ですから、何であれ現しているものには責任がありますが、しかし勿論次の瞬間には責任はなくなります。なぜなら、前に述べたようにあなたが創造したその像、体には思考・行動の仕方における進化、変化はないからです。なぜなら、その誰か、その人はこの世界を去って新しく転生し、別のパーソナリティーになっていて、その転生して今生きている人の波動は瞬間瞬間で変化するからです。しかしその変化はそのパーソナリティー、つまりあなたが創造したその体のイメージには転送されません。

　例えば、サイコノエティカル界に500年間、あるいはそれ以上いた人がいて、その後に転生したとします。その500年の間に地球上で人類がどれだけ進化したか想像できるでしょうか？

　もしその同じパーソナリティーを一緒に見てみると、1つはサイコノエティカル界に500年もいたパーソナリティー、そしてもう一つは最近転生した人ですが、この2人は全くお互いに見知らぬ人です。最大限の可能性からすれば、新しく転生した人の潜在意識の表面に、前の現在のパーソナリティーの体験が放射として浮上してくるかもしれません。なぜなら、新たに転生した人は成長していますが、以前の人は生きていた時のままで成長していないからです。

　言い換えれば、オリジナルのマインドの潜在意識に新しいものが加わりましたが、一方、500年前のオリジナルは500年前に肉体を去った時と同じです。

Q：もし私が否定的な思いで誰かのイメージを創造すると、それは相手の人、または原因結果の法則に影響を与えますか？

K：もしその背後にどんな意味もなしに誰かの同一体を生み出すと、あなたはその相手にどんな結果をも与えません…あなたが送った波動の周波数がそれを受け取る相手の周波数と同じでない場合は。彼の同一体は彼自身のスパークによって活性化されるでしょう。

例えば、誰かが低い波動で、相手も同じ波動だとします。そしてあなたがその誰かのことを考えても何の意味も与えなければ、何も影響はありません。結果を生み出すためにはあなたは相手に意味を与える必要があります。

　同じ事があなたが誰かを助けるためにエンジェルを創造する時にも言えます。しかしあなたがエンジェルを創造する時には周波数の問題ではなく、唯一の障害は原因結果の法則です。これが否定的なエレメンタルと肯定的なエレメンタルとの大きな違いです；多くの違いがあり、それによって進化成長していく人類を助けることになります。ですから人類のレベルは過去に戻ったり、あるいは同じレベルに留まるということはありません。

Q：人々が死んで他の波動の世界に移動し、そこで人々は自分自身の世界あるいはリアリティーを創ります。彼等は次の転生まで同じに留まるのですが、それともそこで成長するのですか？

K：人々の次の転生までそこに留まります。彼等は自分自身の天国、パラダイズに留まるのです。前にも言いましたが、もし多くのダメージをもたらした、つまり多くの人々に害を与えた人の場合は、肉体を去った後、彼等は“病院”に収容されます。彼等がそこにどれほど長く滞在するかは誰もわかりません。それはケースバイケースです。しかしそれらの場所には助けがあり（もちろん、そこは空間の意味を越えた世界ですが）、しかし場所として理解可能な意味があり、それらの一つは月であり、月はそのようなケースの主な病院となります。

Q：物質界、物質的骨組みに関するLifeのセル（＊辞書的な意味は細胞、部屋）に関してですが、例えば原子が最小だとすると、その場合Lifeのセルは物理的意味では原子だと言えますか…宇宙の構造として？　またはまったく違ったものですか？

K：それは創造界における全ての骨組みです…最大および最小のものまで。

最小のものに関するそのリアリティーは科学、テクノロジー、物理学などがアプローチできるものではありません。科学が原子を説明するそのような方法でも不可能です。その理由は彼等が原子を研究しても、その原子を見ることができないからです、原子を見る手段も器具もありません。彼等は仮説としてそれを原子と形容しているのです。

Q：しかし研究者達は原子を分割しています。

K：はい、そして彼等がしているのは、なぜならば原子を無傷に保っている調和に干渉しているのです。幸い、彼等はどんな物質の原子の調和をも邪魔することはできません。彼等が成功しているのは、非常に緩やかなつながりを持つ特定の物質の原子であり、それは調和の状態にあるとは言えないものです。

　さて、何であれ彼等が原子について描写しているもの…原子核の周囲をエレクトロンが回っているその他…それは実際にはそうではなく基本にすぎません。それはその骨組みなのです。彼等が描写しているものと比較して、それがどれほど小さいか想像できるでしょうか？

Q：それならそれは究極的に最小のユニットですか？

K：はい、しかしそれが実在するものを調和の状態に維持しているのです。

いいですか、原子の中にもLifeが*あるのです*。それゆえに私たちには動きがあるのです。Lifeがなければ動きはありません。そしてその動きの邪魔をすると、その小さなものからもの凄いエネルギーが発生します。その中にLifeが*ある*そのヒポスタシスの調和の邪魔をするからです。

Q：それでは、Lifeのセルの中は物理的な意味でそれが3次元的だということですか？Lifeのセル、それについて科学は知らず、見てもいませんが、それは物理的モナドとして実在していると言うのですか？

K：原子に関して、原子について述べた最初の人々は形而上学を扱った人々です。そして彼等が原子について述べた時、科学者達は何も知らず、その理論を拒否さえしたのです。そして後になって勿論、彼等はそれが現実だということを認識しました。

**物質の一つの原子の中に自己実現した誰かが入ることができ、その人にとってそれはそれほど小さくはないのです。それは世界全体でさえあるのです。**

Q：その人はLifeのセルのなかにも入ることができますか？

K：勿論です。Lifeにとって空間と言う意味はありません。あなたは最小の中にも、そして同時に最大の中にも入ることができます。あなたは最大のものさえ抱きしめることができ、そしてその最大は、Lifeとしてのあなたは何かについての微細なヒポスタシスがあるのです。

　いいですか、最大のものはLifeであり、Lifeには限界はありません。しかしもしあなたがLifeと創造界を比較すると、

**創造界はLifeの最大のものの微細な部分にしかすぎないのです。あなたは創造界はLifeだと言うことはできません。創造界はLifeのなかに*ある*のです。なぜならLifeは創造界の原因であり、Lifeの原因が創造界ではないからです。**

EREVNA PYR No.83 KE08 L8/0213